

# 乳がん高度検診・治療センター NEW-す NO.72

2020.5



## 乳房再建にはどんな方法があるの？

乳房再建には、患者さん自身の筋肉や脂肪を身体他の部位から移植する**自家組織再建**とシリコンゲルを用いた**乳房インプラントによる再建**があります。

### 乳房インプラントによる再建について

乳房インプラントによる再建の最大のメリットは身体他の部位を傷つける必要がなく、術後の身体への負担が比較的軽いということです。2013年より乳房インプラントによる乳房再建に健康保険が適応されるようになり、当院でも多くの患者さんに対し、乳房インプラントによる乳房再建手術を行ってきました。

### 乳房インプラントによる再建の一時中断から再開へ

しかし、プレストインプラント関連未分化大細胞リンパ腫（BIA-ALCL）に関連し、2019年7月より日本で唯一、健康保険が適応されていたアラガン社製乳房インプラントが使用できなくなり、これに伴い当院でも乳房インプラントによる乳房再建を中断しておりました。

BIA-ALCLはT細胞性リンパ腫の一種で、発生率は3800分の1～30000分の1と報告されていて、表面がザラザラしたテクスチャードタイプの乳房インプラントを挿入した後に発生する稀な合併症の1つです。

しかしこの度、アラガン社は新たな乳房インプラントの薬事承認を取得し流通を開始したため、当院でも令和2年1月より乳房インプラントによる乳房再建手術を再開致しました。

今回、健康保険が適応された製品は、自主回収となったテクスチャードタイプとは異なり、表面がツルツルしたスムーズタイプという製品です。このタイプのインプラントではBIA-ALCLの発生の心配はなくなりますが、一方でテクスチャードタイプに比べ、破損や被膜拘縮などの合併症の発生率が高いとの報告もあります。

ゲル充填人工乳房 『ナトレル® プレストインプラント』

### Inspiraシリーズインプラント（ラウンド型）

**プロジェクション 5種類**

低	やや低	中	高	特高
LOW	LOW PLUS	MODERATE	FULL	EXTRA FULL
70 サイズ	15サイズ	15サイズ	13サイズ	12サイズ

**ゲル 3種類**

TruForm®1 レシポンシブ ※ → TruForm®2 ソフトタッチ → TruForm®3 コヒーシブ ※※

柔らかめ → 硬め

当院では自家組織再建とインプラント再建それぞれのメリット・デメリットを説明し、患者さんに納得していただいたうえで再建方法を選択しておりますので、再建を希望される方は主治医にご相談ください。

形成外科 望月 祐一

市立貝塚病院  
TEL : 072-422-5865

